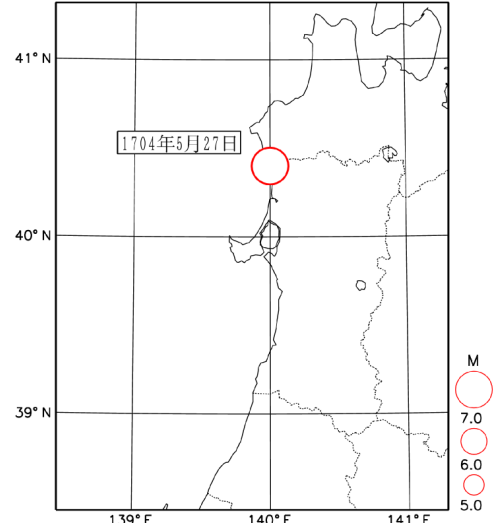


1704年(元禄7年)5月27日の羽後・陸奥の地震による災害

発生日時		1704年5月27日(宝永1年4月24日)	資料  ○: 1704年5月27日の地震の震央
震央地名 地域(名称)		羽後・陸奥 (北緯40° 24′、東経140° 00′)	
震源の深さ		不明	
地震の規模 (マグニチュード:M)		7.0	
県内の震度			
災害発生市町村			
地震概要			
被害概要			
能代の被害が最大。死58、町家の戸数1,250(享保ころ)のうち被害家屋1,193。内訳は焼失758、潰435、土蔵の被害116のうち焼失61、潰55、寺院の焼失7、潰4、焼失米4755石、同大豆188.5石、同小豆241石。田畑損40.4石、苗代損108.5石、堰破損1446間。また、その北方八森村(現在の八峰町八森)では総戸数150~160のうち5~6戸残ったという。 八森から北方深浦に至る海岸も被害多く、とくに山崩れが多かった。崩れ山の崩壊は谷を埋め、今日十二湖として知られている大小多数の湖を生じた。 (最新版 日本被害地震総覧 による)			